SONY

トリニトロン®カラーテレビ

取扱説明書

KV-21ST31
KV-25ST31
KV-29GS31

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

©1994 by Sony Corporation

目 次

3-759-014-01 (1)

基本的な使いかた
- テレビ、衛星放送を見る 2
- ビデオなどを見る 5

進んだ使いかた
- 画質／音質を調整する 6
- 時刻を表示する 9

BSの録画
- BSを録画する 11
- BSを予約録画する 12

ご自分で設置されるかたは 13

アンテナ接続と受信のための設定
- VHF/UHFアンテナをつなぐ 14
- チャンネルを自動設定する 16
- チャンネル表示を書き換える 18
- 選局方法を切り換える【10キー選局】 19

BSアンテナ接続と受信のための設定
- BSアンテナをつなぐ 21
- BS受信のための設定 22
- BSアンテナを調整する 23
- デコーダーとMUSE-NTSCコンバーターの接続 24
- チャンネルごとの使用デコーダーの設定 25

故障とお考えになる前に 26

- 各部のなまえと働き 28
- 主な仕様 31
- 保証書とアフターサービス 裏表紙

ここだけ読んでも 使えます 2〜3ページ ▶

テレビ、衛星放送を見る

1 赤いスタンバイランプがついているか確認する。

ついていないときは本体の電源スイッチを押す。

2 チャンネルを選ぶ。

ボタンを押すと、テレビがつく。
衛星放送(BS)を見るには、チャンネルボタン⑬〜⑮を押す。

⑬→BS5　⑭→BS7　⑮→BS11

チャンネル＋／－ボタンを押すと、①〜⑮の放送が順に映る。

3 音量を調節する。

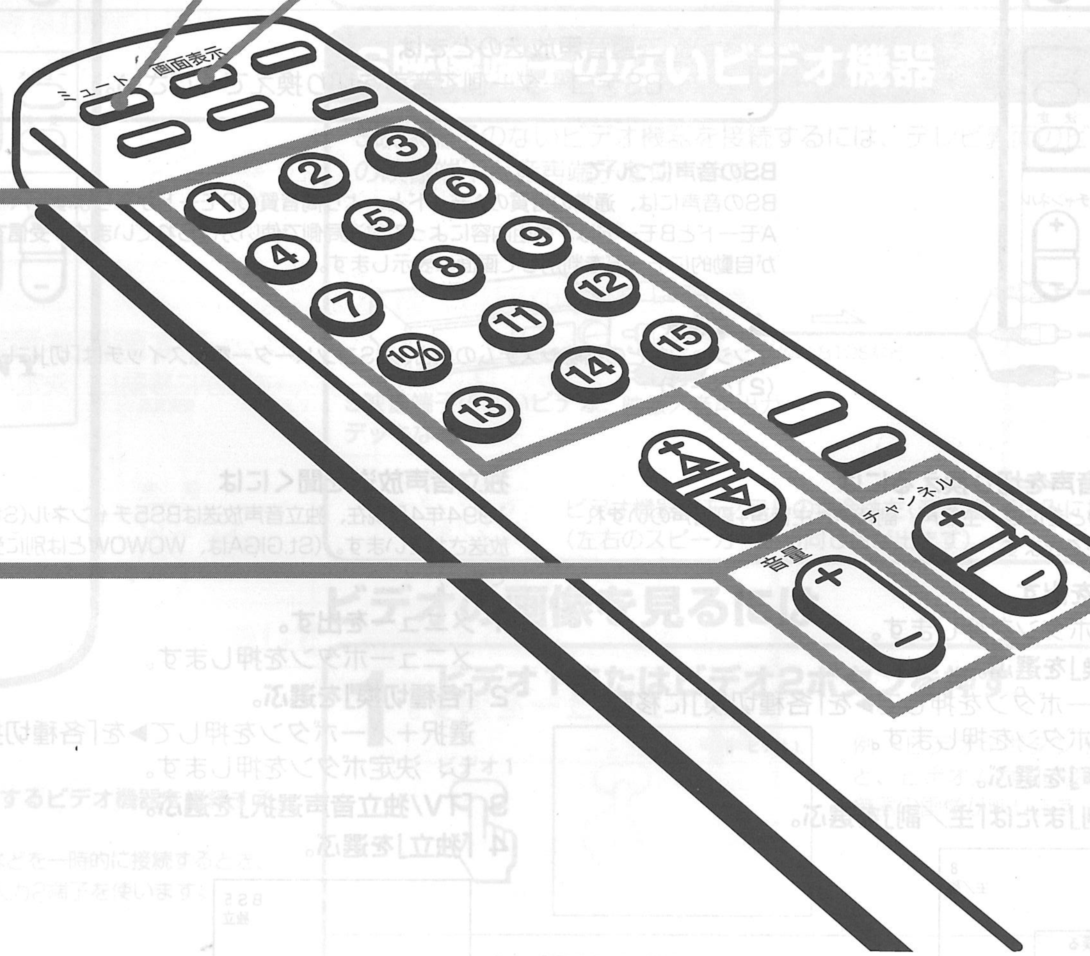
テレビを消すには、リモコンの電源ボタンを押す。

テレビを消すには、リモコンの電源ボタンを押す。

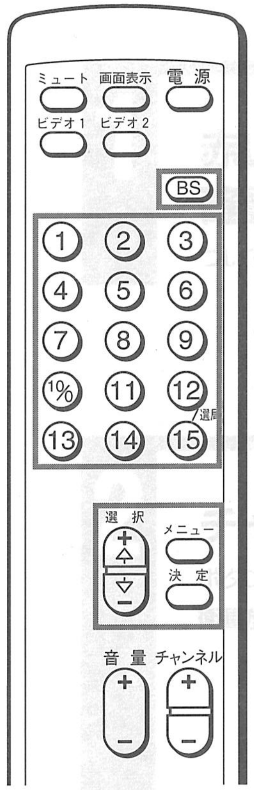
BSボタンを使って衛星放送(BS)を選ぶこともできます。

例　BS→⑦→BS7

有料の衛星放送(WOWOWなど)を見るときは、4ページをご覧ください。



テレビ・衛星放送を見る(つづき)



BS(衛星放送)を見るには、次の準備が必要です。
- BSアンテナの接続(21ページ)
- 受信のための設定とBSアンテナの調整(22~23ページ)
- BSデコーダーの接続(民間BSを見るときのみ)(24ページ)

民間BS(WOWOWなど)を見るには

(スクランブルのかかった)民間BSのスクランブルを解除して見るためには、放送局と受信契約を結び、BSデコーダーを受け取ってテレビにつなぐ必要があります。

1 チャンネルボタンを押し、民間BSのチャンネルを選ぶ。

2 BSデコーダーの電源を入れる。

二重音声放送のときは
BSデコーダー側で音声を切り換えてください。

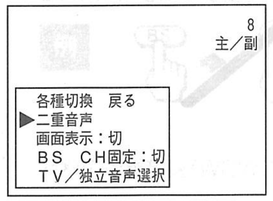
BSの音声について
BSの音声には、通常の音質のAモードと、より高音質のBモードがあります。
AモードとBモードは、番組内容によって放送局側で使い分けられています。受信すると、テレビが自動的にモードを判別して画面に表示します。

⚠ ご注意
マンションなどの共聴システムの場合、BSコンバーター電源スイッチは「切」にしてください。(21ページ)

主音声と副音声を切り換えるには

二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声+副音声のいずれかを選ぶことができます。

1 **メニューを出す。**
メニューボタンを押します。
2 **「各種切換」を選ぶ。**
選択+/−ボタンを押して▶を「各種切換」に移動し、決定ボタンを押します。
3 **「二重音声」を選ぶ。**
4 **「主」、「副」または「主/副」を選ぶ。**

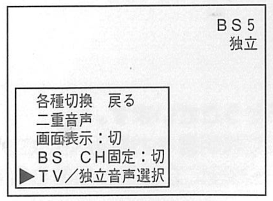


5 **メニューを消す。**

独立音声放送を聞くには

1994年4月現在、独立音声放送はBS5チャンネル(St.GIGA)でのみ放送されています。(St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。)

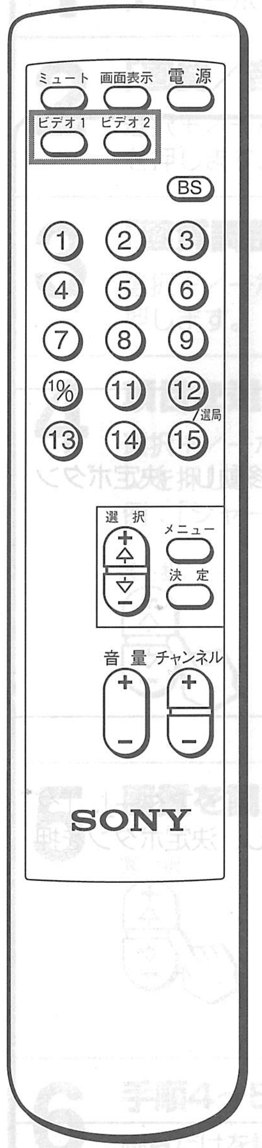
1 **メニューを出す。**
メニューボタンを押します。
2 **「各種切換」を選ぶ。**
選択+/−ボタンを押して▶を「各種切換」に移動し、決定ボタンを押します。
3 **「TV/独立音声選択」を選ぶ。**
4 **「独立」を選ぶ。**



5 **メニューを消す。**

スクランブルがかかっているときには
デコーダー側で、独立音声に切り換えます。

ビデオなどを見る

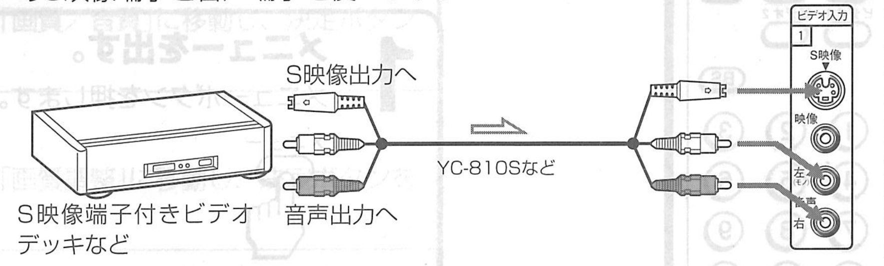


本機に接続したビデオデッキなどの画像を見ることができます。

ビデオ機器を接続するには

S映像端子付きのビデオ機器

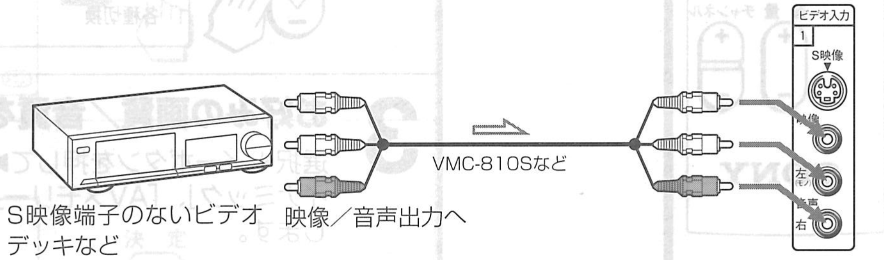
S映像端子付きのビデオ機器を接続するには、テレビ裏面のビデオ入力1のS映像端子と音声端子を使います。



S映像端子と映像端子を同時に接続するとS映像が優先されます。

S映像端子のないビデオ機器

S映像端子のないビデオ機器を接続するには、テレビ裏面のビデオ入力1の映像端子と音声端子を使います。

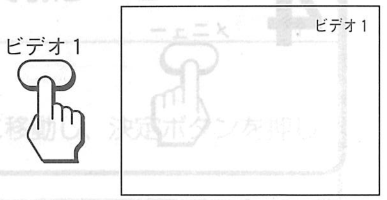


ビデオ機器がモノラルの場合は左(モノ)端子のみに接続します。(左右のスピーカーから同じ音が出ます)

一時的に使用するビデオ機器を接続するとき
ビデオカメラなどを一時的に接続するとき、前面のビデオ入力2端子を使います。

ビデオの画像を見るには

1 ビデオ1またはビデオ2ボタンを押す。

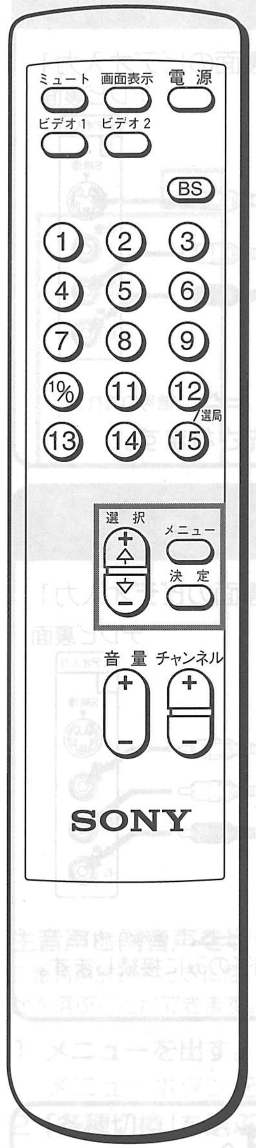


例:ビデオ1ボタンを押すと、ビデオ入力1に接続した機器の画像が映ります。

2 ビデオ機器を再生する。

画質／音質を調整する

部屋の明るさや番組に合わせて、4種類の画質・音質を選ぶことができます。
「AVメモリー」では、画質と音質を、お好みに応じて細かく調整することができます。
「スタンダード」、「シアター」、「ダイナミック」の画質と音質を調整することはできません。



設定されている画質・音質の特徴

- スタンダード
  明暗がはっきりして、調和のとれた画面。ふつうのお部屋で見るときに選びます。
- シアター
  明るさを落とし、暗い部分の微妙な階調を忠実に再現した画面で、低音を強調した音質。暗い部屋や、映画・レンタルソフトを見るときに選びます。
- ダイナミック
  明暗がはっきりして、メリハリがある画面。明るい部屋で見るときに選びます。

お買い上げ時は、明るい部屋を想定して「ダイナミック」に設定されています。

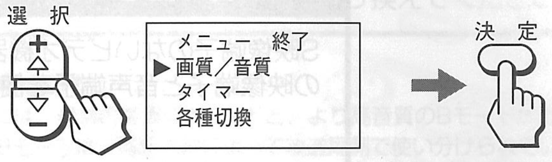
画質／音質を選ぶには

1 メニューを出す。

メニューボタンを押します。

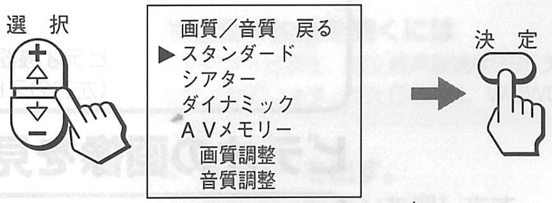
2 「画質／音質」を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して▶を「画質／音質」に移動し、決定ボタンを押します。



3 お好みの画質／音質を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して▶を「スタンダード」、「シアター」、「ダイナミック」、「AVメモリー」のいずれかに移動し、決定ボタンを押します。



4 メニューを消す。

画質／音質をお好みに応じて調整するには

1 メニューを出す。

メニューボタンを押します。

2 「画質／音質」を選ぶ。

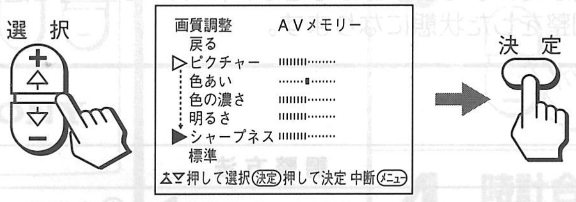
選択＋／－ボタンを押して▶を「画質／音質」に移動し、決定ボタンを押します。

3 「画質調整」を選ぶ。

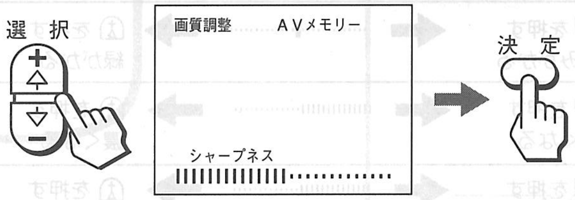
選択＋／－ボタンを押して▶を「画質調整」に移動し、決定ボタンを押します。

4 項目を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して▶を調整したい項目に移動し、決定ボタンを押します。
例：「シャープネス」を選ぶ場合



5 画質を調整する。



6 手順4～5を繰り返して、お好みの画質に調整する。

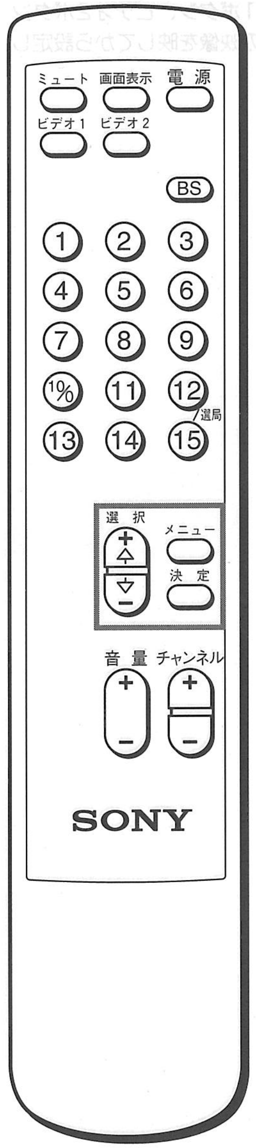
画質だけを調整するときは、調整が終わったらメニューボタンを押して、メニューを消します。

7 「戻る」を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して▶を「戻る」に移動し、決定ボタンを押します。

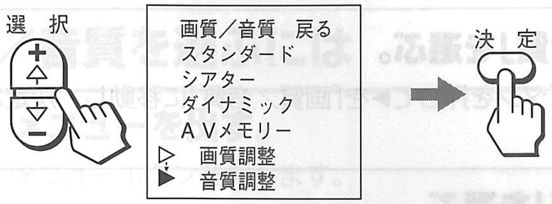
画質／音質は
テレビ(UHF、VHF、CATV)、BS、ビデオ1、ビデオ2のそれぞれの入力について画質・音質は登録できます。
他の入力について登録するときは、チャンネルボタン、ビデオ1ボタン、ビデオ2ボタンを使ってその入力の映像を映してから設定してください。

画質・音質を調整する(つづき)



8 「音質調整」を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して▶を「音質調整」に移動し、決定ボタンを押します。



9 手順4～5と同様に、音質を調整する。

10 メニューを消す。

これで調整は終わりです。このあとは、「AVメモリー」を選択すると、この調整をした状態になります。

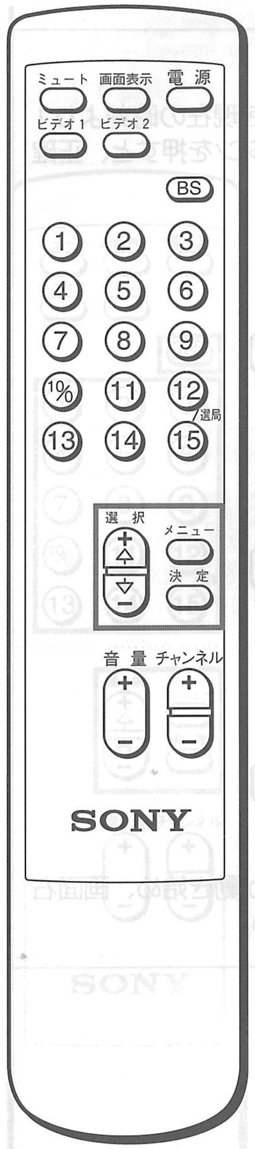
画質の調整

調整項目	調整方法	
ピクチャー	▽を押す コントラストが弱くなり、色が淡くなる	△を押す コントラストが強くなり、色が濃くなる
色あい	▽を押す 赤みがかる	△を押す 緑がかる
色の濃さ	▽を押す 淡くなる	△を押す 濃くなる
明るさ	▽を押す 暗くなる	△を押す 明るくなる
シャープネス	▽を押す 柔らかな画像に	△を押す くっきりした画像に
標準	決定ボタンを押すと、ピクチャーからシャープネスまでが、お買い上げ時と同じ設定に戻ります。	

音質の調整

調整項目	調整方法	
高音	▽を押す 高音を弱く	△を押す 高音を強く
低音	▽を押す 低音を弱く	△を押す 低音を強く
バランス	▽を押す 左側の音を強く	△を押す 右側の音を強く
標準	決定ボタンを押すと、高音からバランスまでがお買い上げ時と同じ設定に戻ります。	

時刻を表示する

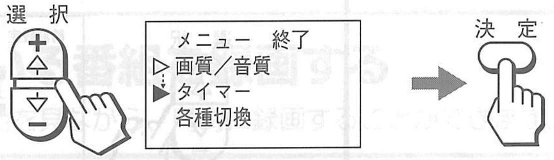


1 メニューを出す。

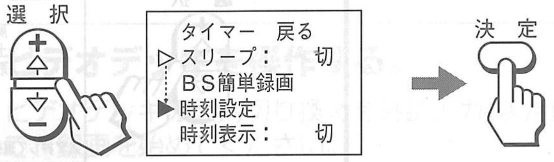
メニューボタンを押します。

2 「タイマー」を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して、▶を「タイマー」に移動し、決定ボタンを押します。

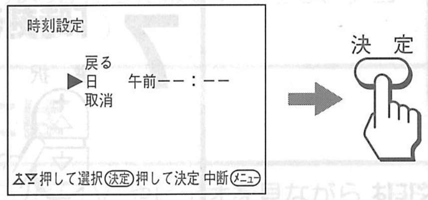


3 「時刻設定」を選ぶ。

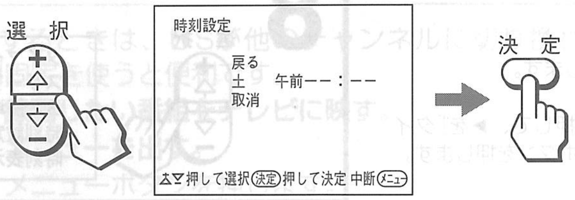


4 時計合わせを始める。

決定ボタンを押します。



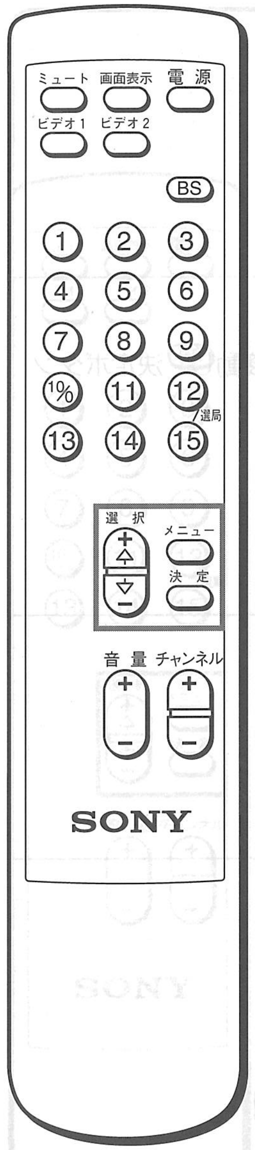
5 曜日を選ぶ。



時刻について
昼の12時は午後0：00
夜の12時は午前0：00
になります。

⚠ 電源プラグを抜いたり、停電があったとき
時刻が「午前－－：－－」に戻ってしまいます。そのときは、時計を合わせ直してください。

時刻を表示する(つづき)



テレビの消し忘れを防ぐには(スリープ機能)
テレビをつけたままおやすみになっても、スリープを「入」にしてから1時間後にテレビが消えます。

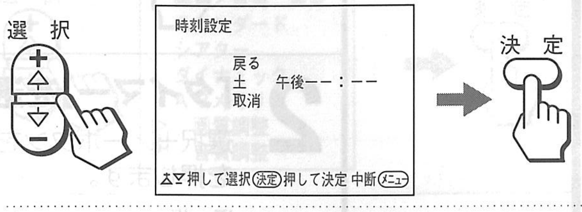
1 **メニューを出す。**
メニューボタンを押します。
2 **「タイマー」を選ぶ。**
選択+／−ボタンを押して、▶を「タイマー」に移動し、決定ボタンを押します。
3 **「スリープ」を選ぶ。**
4 **「入」を選ぶ。**

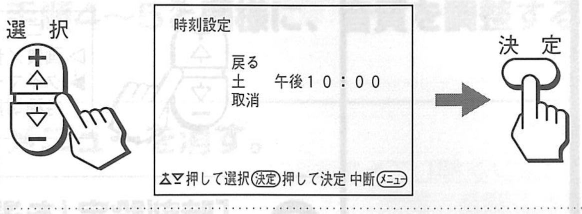
タイマー　戻る
▶スリープ：　入
ＢＳ簡単録画
時刻設定
時刻表示：　切

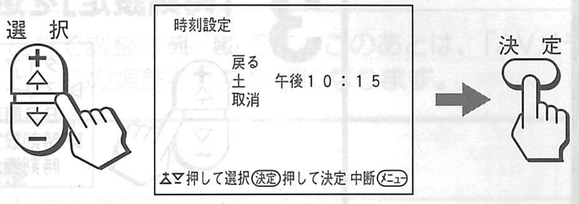
5 **メニューを消す。**

6 時間を設定する。

午前／午後→時→分の順に設定します。「分」を現在の時刻より1分ほど先にしておいて、時報に合わせて決定ボタンを押すと、正確な時計合わせができます。

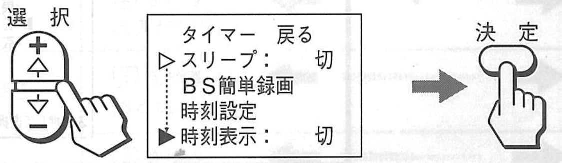




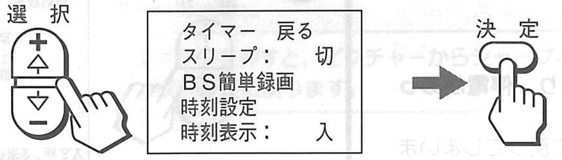


分を選択したら、決定ボタンを押します。時計が動き始め、画面右下に時刻表示が出ますので、確認してください。

7 「時刻表示」を選ぶ。



8 「入」を選ぶ。

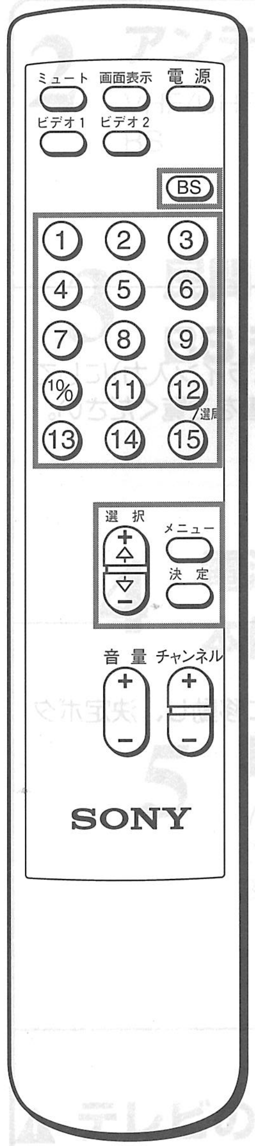


9 メニューを消す。

途中でまちがえたときは
とりあえず最後まで設定し、手順3からやり直してください。

時刻表示を消すには
手順8で「切」を選びます。

BSを録画する

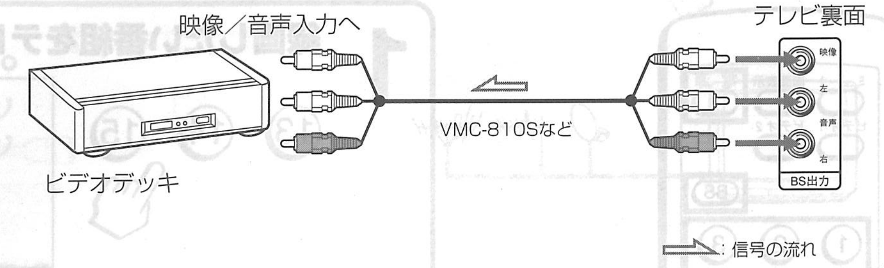


CH固定をしたあとは
リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、CH固定をしてから48時間電源が入った状態になります。

BSの他のチャンネルを見るには
「BS CH固定」を「切」にしてください。

ビデオデッキを接続する

テレビ裏面のBS出力端子とビデオデッキの映像／音声入力端子を接続します。



見ている番組を録画する

BSの番組を見ながら、同時に録画することができます。

1 録画したい番組をテレビに映す。

2 ビデオデッキを操作する。

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力(またはライン入力)にして、録画を始めてください。

独立音声を録音するときは4ページをご覧になり、各種切換メニューから「TV／独立音声選択」を選んで「独立音声」にしてください。(スクランブルのかかった放送のときは、デコーダー側で独立音声を選んでください。)

裏録画するには

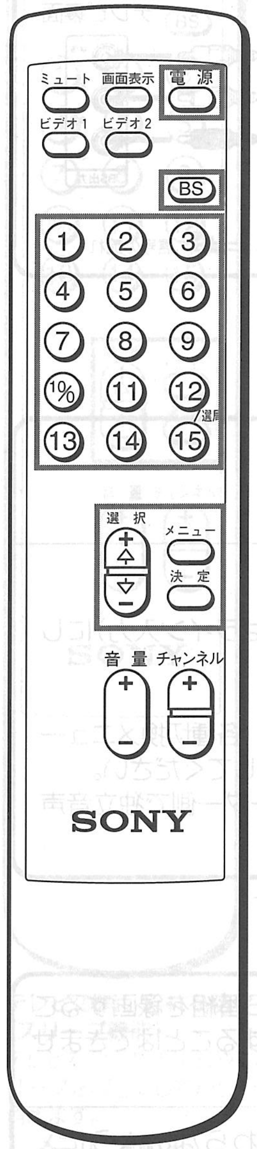
テレビ(VHF、UHF、CATV)やビデオを見ながら、BS番組を録画することができます。(BSを見ながら、他のBSの番組を録画することはできません。)

裏録画するときは、ＢＳが他のチャンネルに切り換わらないように、BS CH固定を使うと便利です。

1 **録画したい番組をテレビに映す。**
2 **メニューを出す。**
メニューボタンを押します。
3 **「各種切換」を選ぶ。**
選択+／−ボタンを押して▶を「各種切換」に移動し、決定ボタンを押します。
4 **「BS CH固定」を選ぶ。**
5 **「入」を選ぶ。**
6 **メニューを消す。**

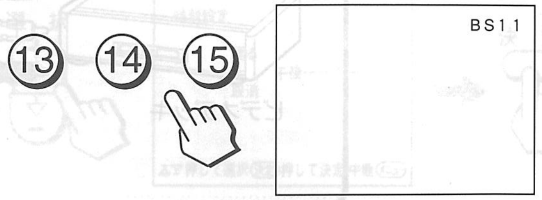
BSチューナー部のチャンネルと音声が固定されて、ほかのチャンネルに切り換わらなくなります。

BSを予約録画する



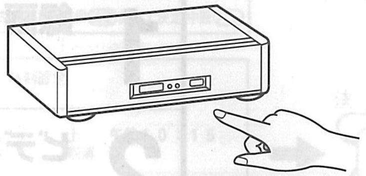
48時間以内の番組を簡単に録画予約することができます。
簡単録画ボタンを押すと、ボタンを押してから48時間、BSチューナー部に電源が入った状態になり、お手持ちのビデオデッキでBSの番組を録画することができます。

1 録画したい番組をテレビに映す。



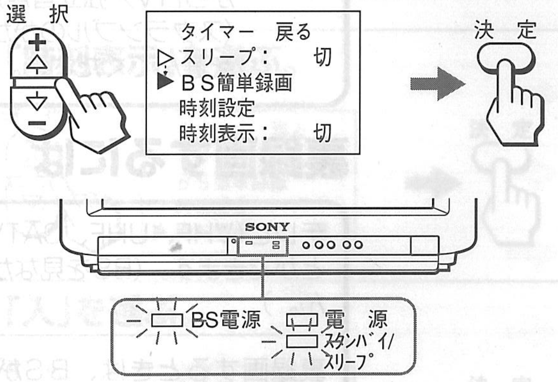
2 ビデオデッキで録画予約をする。

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力(またはライン入力)にしてください。詳しくは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。



3 「BS簡単録画」を選ぶ。

メニューのタイマー画面で▶を「BS簡単録画」に移動し、決定ボタンを押します。



テレビは消えますが、BS電源ランプが点灯したままになります。

BSチューナー部の電源は、48時間後に自動的に切れます。
スクランブルのかかった放送の録画中は、接続したデコーダーの電源も入れたままにしてください。

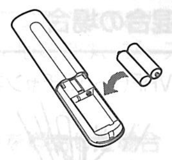
簡単録画を解除するには
もう一度「BS簡単録画」を選びます。BSチューナー部の電源が切れます。

BS簡単録画予約中にテレビを見るとき
リモコンの電源ボタンでテレビをつけます。

⚠ ご注意
- このときBSの他のチャンネルを映すと、録画されるチャンネルも切り換わります。
- テレビを消すときは、必ずリモコンで消してください。テレビ本体の電源ボタンでテレビを消すと、録画できなくなります。

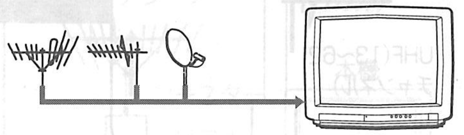
ご自分で設置されるかたは

1 リモコンに乾電池を入れる。 30 ページ

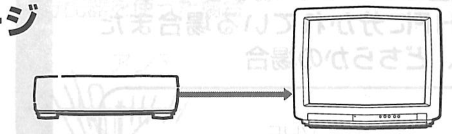


2 アンテナをつなぐ。

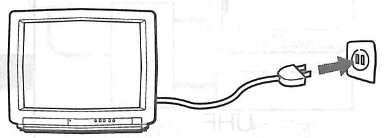
VHF/UHF　14~15 ページ
BS　21、23 ページ



3 民間BSを見る場合、BSデコーダーを接続する。 24 ページ

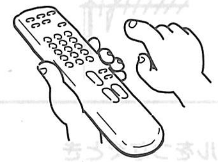


4 電源プラグをつないで、本体の電源スイッチを入れる。



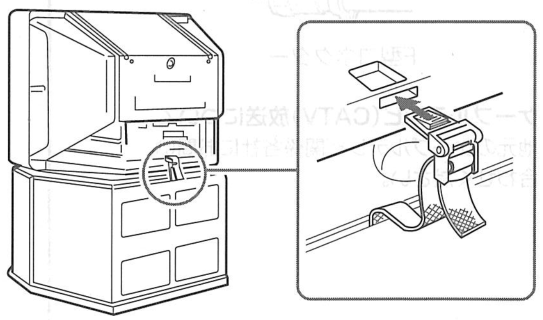
5 設定をする。

VHF/UHF　16~18 ページ
CATV　16 ページ
BS　22 ページ



⚠ テレビの転倒を防止するために (KV-25ST31/29GS31のみ)

お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れるおそれがあります。このような事故を防止したり、地震などの非常時に備えて、テレビの転倒防止を行ってください。



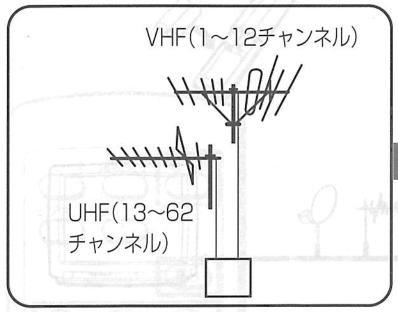
転倒防止のための別売り品
- テレビラック固定ベルトBLT-R10
- テレビスタンド(テレビラック固定ベルトが付属)
  SU-25ST3(KV-25ST31)、SU-29V(KV-29GS31)

ベルトの取り付けかたは、別売り品に付属の取扱説明書をご覧ください。

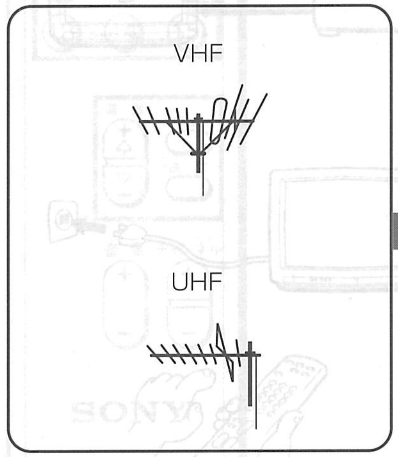
VHF/UHFアンテナをつなぐ

部屋に引き込まれているアンテナ線は、各種の状態(線種、端子形状、受信電波)があり、つなぎかたが異なります。このページに説明されているのは代表的な接続例です。販売店、家の工務店、管理人のかたなどにご相談のうえ、接続してください。

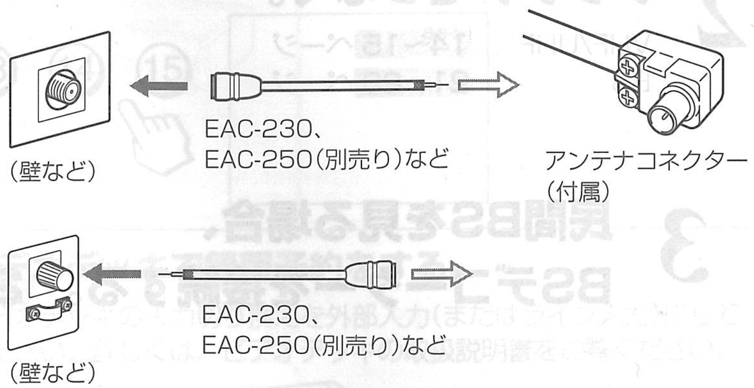
部屋のアンテナ端子がVHF/UHF混合の場合



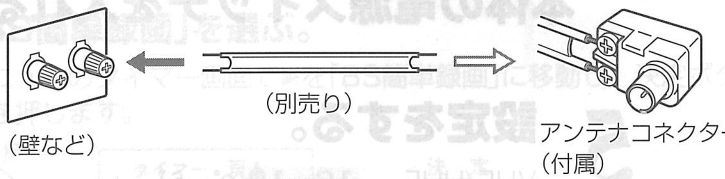
部屋のアンテナ端子がVHF、UHFに分かれている場合または、どちらかの場合



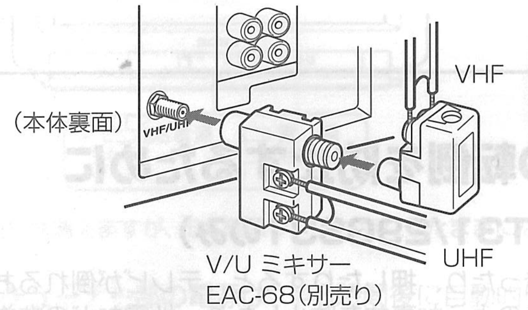
同軸ケーブルの場合 詳しくは A



フィーダー線の場合 詳しくは B



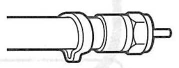
VHF、UHFのアンテナ線が分かれている場合は、次のようにV/Uミキサー(別売り)を使用して接続します。



フィーダー線は、同軸ケーブルに比べ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
フィーダー線をご使用になる場合は、テレビ本体からできる限り離してください。

同軸ケーブルをつなぐとき

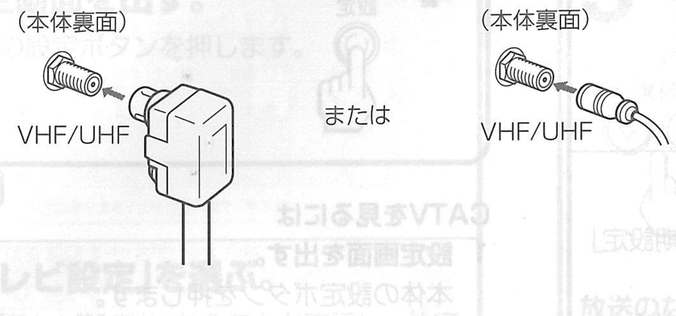
先端がF型コネクター付きの場合、付属のアンテナコネクターを使わずに、直接アンテナ端子につなぎます。



F型コネクター

ケーブルテレビ(CATV)放送について

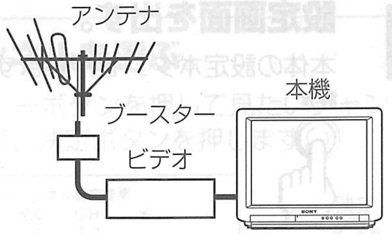
地元のケーブルテレビ関係各社にお問い合わせください。



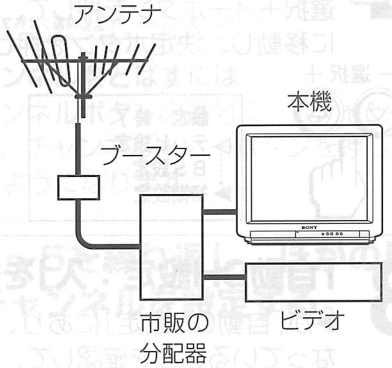
ビデオデッキをつないで見るとき

下図のように二つの方法があります。
特に電波が弱い地域では、ブースターをお使いください。

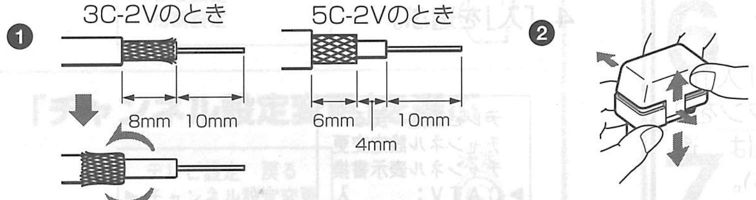
ビデオデッキを経由した場合



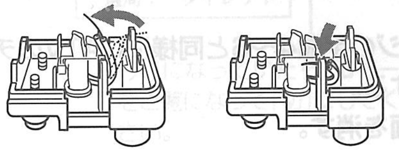
分配器を使った場合



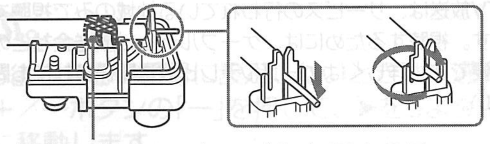
A 同軸ケーブルのつなぎかた



❸ ペンチで、金具にはさんである線を図のように折り曲げる。

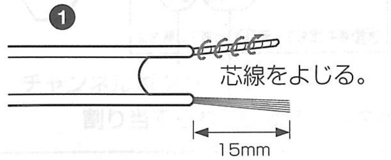


❹ 同軸ケーブルの芯線を根元まで差し込み、巻き付ける。

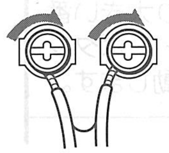


❺ 金具を曲げて、ケーブルを押さえる。
❻ ふたをはめる。

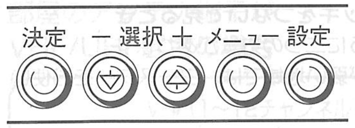
B フィーダー線のつなぎかた



❷ ドライバーでネジを緩め、芯線を巻き付けてネジを締める。



チャンネルを自動設定する



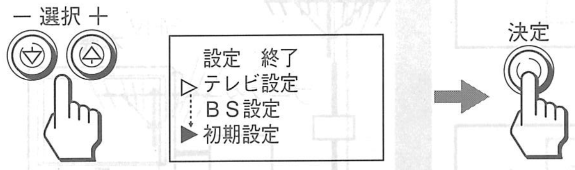
現在ご覧になれるUHF・VHFの放送を、1〜12のチャンネルボタンに、自動的に割り当てます。
(衛星放送は13〜15のチャンネルボタンに割り当ててあります。)

1 設定画面を出す。

本体の設定ボタンを押します。

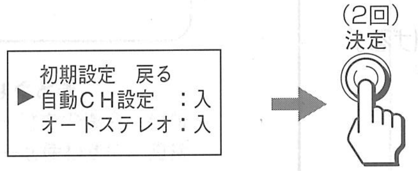
2 「初期設定」を選ぶ。

選択+／−ボタンを押して、▶を「初期設定」に移動し、決定ボタンを押します。



3 「自動CH設定：入」を選ぶ。

▶が「自動CH設定」にあり、設定が「入」になっていることを確認して、決定ボタンを2回押します。「切」になっているときは、選択+／−ボタンで「入」にしてください。



自動チャンネル設定を開始し、「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ます。メッセージが出ている間は、なにも操作せずにお待ちください。
終了すると「チャンネル設定変更」画面に変わります。

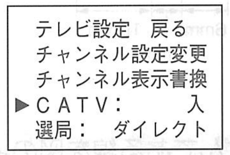
自動チャンネル設定を中断するには
「自動チャンネル設定中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押すと、初期設定画面に戻ります。

設定された内容を確認するには
自動チャンネル設定終了後の「チャンネル設定変更」画面で確認します。5より大きい番号を確認したいときは、選択+／−ボタンの「−」を押して▶を5より下に移動します。

4 設定画面を消す。

CATVを見るには

1 設定画面を出す。
　本体の設定ボタンを押します。
2 「テレビ設定」を選ぶ。
　選択+／−ボタンを押して▶を「テレビ設定」に移動し、決定ボタンを押します。
3 「CATV」を選ぶ。
4 「入」を選ぶ。



5 17ページの手順4〜6と同様にCATVのチャンネルを設定する。
6 設定画面を消す。

CATV放送について
CATV放送は、サービスの行われている地域のみで視聴することができます。視聴するためには、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送関係各社にお問い合わせください。

⚠ CATVが「入」のとき
UHFを受信することはできません。UHFをご覧になるときは、CATVを「切」に設定し直してください。

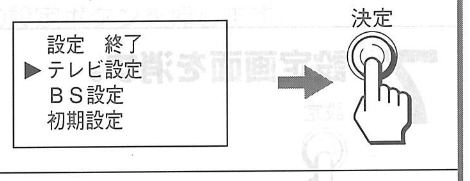
設定された内容を部分的に変更するには

1 設定画面を出す。

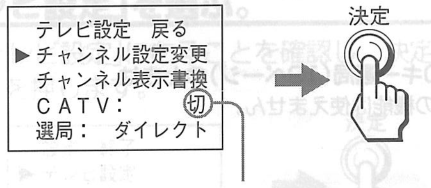
本体の設定ボタンを押します。

2 「テレビ設定」を選ぶ。

▶が「テレビ設定」にあることを確認し、決定ボタンを押します。



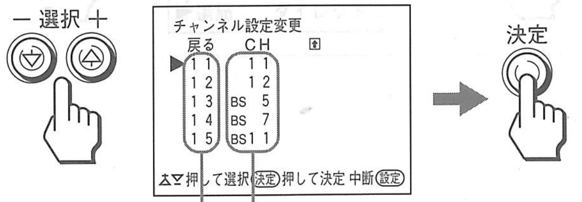
3 「チャンネル設定変更」を選ぶ。



「入」になっていたら16ページをご覧になって「切」にしてください。

4 変更したいチャンネルボタンを選ぶ。

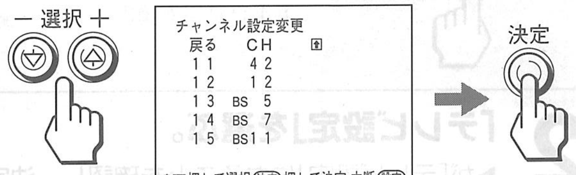
5より大きい番号に設定したいときは、選択+／−ボタンの「−」を押して、▶を5より下に移動します。



チャンネルボタン
割り当てられているチャンネル

5 チャンネルを選ぶ。

選択+／−ボタンを押して見たいチャンネルを選び、決定ボタンを押します。



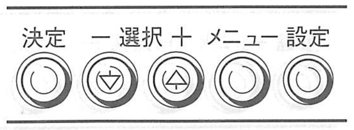
放送のないチャンネルをとばすには
放送のないチャンネルボタンの番号に、0チャンネルを設定すると、チャンネル+／−ボタンを押しても選局されないようになります。

6 手順4〜5を繰り返し、ほかの見たいチャンネルを設定する。

7 設定画面を消す。

UHFのチャンネル番号について
地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

チャンネル表示を書き換える



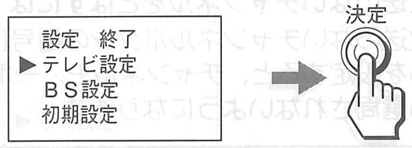
画面に出るチャンネル表示を、お好みの番号にすることができます。UHFなどで、覚えやすいチャンネル表示にしたいときに書き換えます。

1 設定画面を出す。

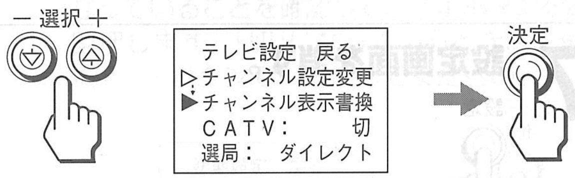
本体の設定ボタンを押します。

2 「テレビ設定」を選ぶ。

▶が「テレビ設定」にあることを確認し、決定ボタンを押します。

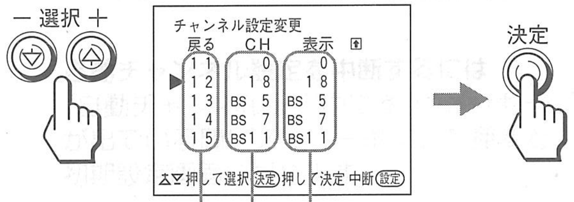


3 「チャンネル表示書換」を選ぶ。

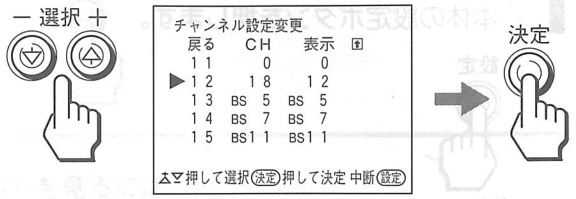


4 表示を書き換えたいチャンネルボタンを選ぶ。

5より大きい番号のチャンネルを書き換えたいときは、選択＋／－ボタンの「－」を押して、▶を5より下に移動します。



5 表示を選ぶ。

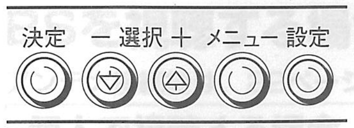


6 手順4～5を繰り返して必要なチャンネルを書き換える。

7 設定画面を消す。

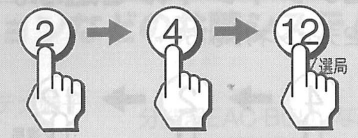
10キー選局（19ページ）のときは
この機能は使えません。

選局方法を切り換える【10キー選局】

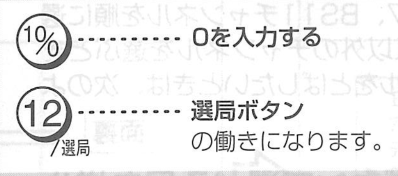


通常の選局方法［ダイレクト選局］のほかに、［10キー選局］という選局方法が用意されています。見たいチャンネル数が12を超える場合などにお使いください。

10キー選局とは
例えば、24チャンネルを選ぶときに



と押す選局方法です。



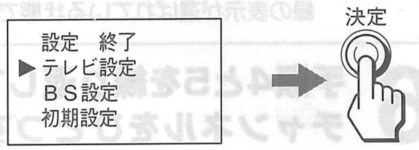
10キー選局に切り換えるには

1 設定画面を出す。

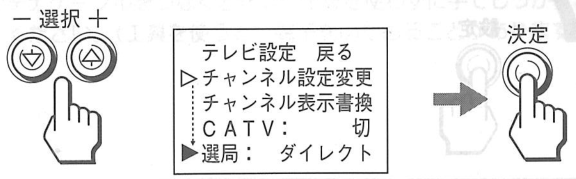
本体の設定ボタンを押します。

2 「テレビ設定」を選ぶ。

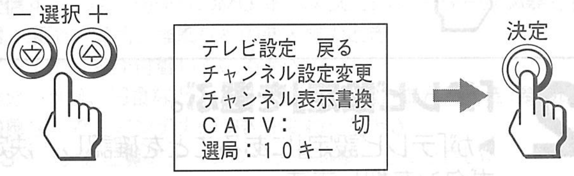
▶が「テレビ設定」にあることを確認し、決定ボタンを押します。



3 「選局」を選ぶ。



4 「10キー」を選ぶ。



5 設定画面を消す。

［ダイレクト選局］に戻すには
手順4で［ダイレクト］を選びます。

スタンバイランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときは
チャンネル数字ボタンに続けて、⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。

アンテナ接続と受信のための設定

選局方法を切り換える【10キー選局】(つづき)

10キー選局のときに、チャンネル＋／－ボタンで選べる局を設定するには

お買い上げ時はチャンネル＋／－ボタンで、1～12チャンネルとBS5、BS7、BS11チャンネルを順に選ぶことができます。これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

チャンネル＋／－ボタンで選べる局を増やすには

1 設定画面を出す。

本体の設定ボタンを押します。

2 「テレビ設定」を選ぶ。

▶が「テレビ設定」にあることを確認し、決定ボタンを押します。

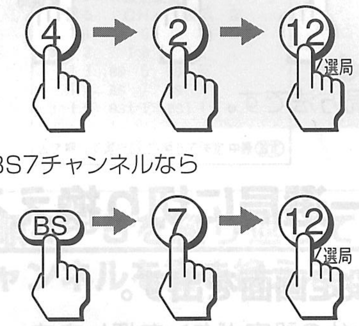
設定　終了
▶テレビ設定
ＢＳ設定
初期設定

3 「チャンネル設定変更」を選ぶ。

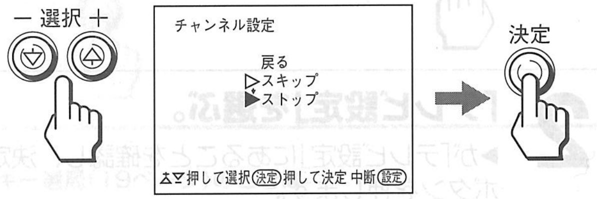
テレビ設定　戻る
▶チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
ＣＡＴＶ：　切
選局：１０キー

4 見たいチャンネルを選ぶ。

例)42チャンネルなら



5 「ストップ」を選ぶ。



緑の表示が選ばれている状態です。

6 手順4と5を繰り返して、見たいチャンネルをひとつずつ設定する。

7 設定画面を消す。

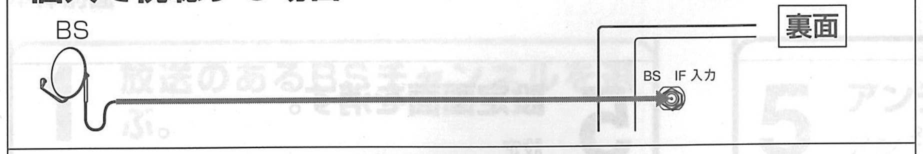
放送のないチャンネルをとばすには
手順5で、「スキップ」を選びます。

BSアンテナをつなぐ

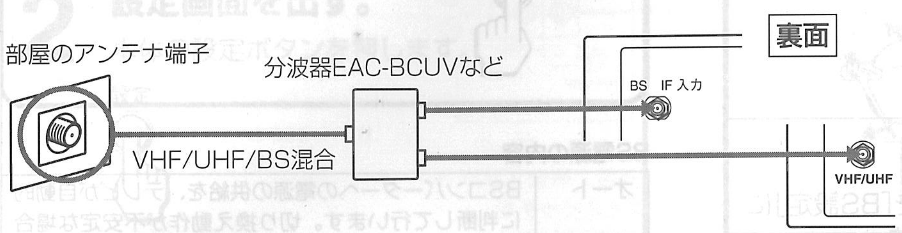
BSを視聴する場合

アンテナ接続後は、22ページをご覧になり、下記のように受信のための設定を行ってください。

個人で視聴する場合



マンションなどの共聴システムの場合



お買い上げ時、「BS電源」は「オート」に設定されています。そのままご使用ください。

BS設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ＢＳ電源：切

「オート」で切り換え動作が不安定な場合は「切」にしてください

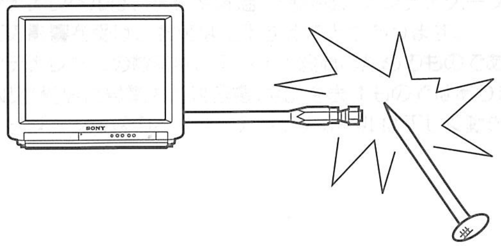
BS受信用の別売り商品
- BSアンテナ
  SAN-50HD1
  SAN-37J1
  SAN-30BF1
- アンテナ取り付け金具
  ANJ-K1(壁面タイプ)
  ANJ-B1(ベランダタイプ)
  ANJ-Y1(屋根馬タイプ)
- BS分配器
  EAC-BC2
  EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
  EAC-BCUV
- BS用ブースター
  BO-BC20
- 同軸ケーブル
  SAK-C10(10m)
  SAK-C20(20m)
  SAK-C30(30m)

⚠ ご注意
アンテナケーブルをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。(工具を使うと、端子をいためることがあります。)

受信状態について
次のようなときは、BSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
- ハイビジョン放送のとき
  受信するには、別売りのMUSE-NTSCコンバーターが必要です。
- 雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
- アンテナに雪が付着しているとき
- 春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき(食のとき)
- 強風などで、アンテナの向きが変わったとき
  23ページをご覧の上、アンテナを調整してください。

⚠ サテライト分配器についてのご注意
サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ(ソニーEAC-BC2またはEAC-BC4など)をお使いください。
サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

⚠ BSコンバーター電源についてのご注意
- BS IF入力端子はDC15Vを供給します。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。
- テレビ画面に「コンバーター電源を確認してください」という表示が出て、BS電源ランプが点滅しているときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐにテレビ本体の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。



BSアンテナ接続と受信のための設定

BS受信のための設定

決定　－選択＋　メニュー　設定

本体前面

BSアンテナをつないだとき、必要に応じて設定を行ってください。

1 設定画面を出す。

本体の設定ボタンを押します。

設定

2 「BS設定」を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して▶を「BS設定」に移動し、決定ボタンを押します。

－選択＋

設定　終了
テレビ設定
▶ＢＳ設定
初期設定

決定

3 「BS電源」を選ぶ。

－選択＋

ＢＳ設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ＢＳ電源：切

決定

4 「連動」、「オート」または「切」を選ぶ。

－選択＋

ＢＳ設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
ＢＳ電源：連動

決定

5 設定画面を消す。

設定

BS電源の内容

オート	BSコンバーターへの電源の供給を、テレビが自動的に判断して行います。切り換え動作が不安定な場合は、アンテナのつなぎかた（個別アンテナまたは共聴システム）に合わせて、「切」または「連動」にしてください。
切	BSコンバーターへの電源は供給されません。マンションなどの共聴システムのとき、選んでください。
連動	テレビがついているときに、BSコンバーターへ電源を供給します。

BSアンテナを調整する

決定　－選択＋　メニュー　設定

本体前面

BSアンテナをつないだあと、次の手順でアンテナの方向と角度を調整します。最良の調整ができるように、画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

1 放送のあるBSチャンネルを選ぶ。

2 設定画面を出す。

本体の設定ボタンを押します。

設定

3 「BS設定」を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して▶を「BS設定」に移動し、決定ボタンを押します。

－選択＋

設定　終了
テレビ設定
▶ＢＳ設定
初期設定

決定

4 「アンテナレベル」を選ぶ。

－選択＋

ＢＳ設定　戻る
▶アンテナレベル
デコーダー入力切換
ＢＳ電源：切

決定

音を聞いて調整するとき（必要ない場合は手順5へ）

1 決定ボタンを押す。

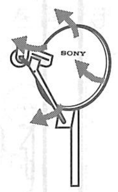
アンテナレベル　ＢＳ11
戻る
▶ビープ音：切
コンバーター電源：オート
３０　３５
▲▼押して選択 決定 押して決定 中断 設定

決定

2 選択＋／－ボタンを押して「入」を出し、決定ボタンを押す。

5 アンテナを調整する。

アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。



アンテナレベル　ＢＳ11
戻る
▶ビープ音：切
コンバーター電源：オート
３２　３５
▲▼押して選択 決定 押して決定 中断 設定

画面の数字で調整する場合

今入っているアンテナレベル（緑の数字）が、最大値（黄色の数字）に近づくようにアンテナを動かします。

音を聞いて調整する場合

スピーカーからの音が、連続した高音になるようにアンテナを動かします（音量は音量＋／－ボタンで調整できます）。
緑の値が、黄の値と比べて
　小さいとき：断続音
　ほぼ同じとき：連続音
となります。

6 調整が終わったら、設定画面を消す。

設定

アンテナレベルとは

アンテナから入ってくる電波の強さのことです。

- アンテナレベルは、天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどの影響を受け、数値は上下することがあります。
- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置のためのものであり、受信C/N比（受信信号電力対雑音電力比）を表すものではありません。
- ハイビジョン放送のときは、アンテナレベルは正しく動きません。

BSアンテナ接続と受信のための設定

デコーダーとMUSE-NTSCコンバーターの接続

スクランブルのかかったBSの番組を見るには、BSデコーダーが必要です。詳しくは、BSの放送会社にお問い合わせください。

お買い上げ時は、スクランブルのかかった放送を受信すると、接続したBSデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。(デコーダー入力の自動切り換え機能25ページ)

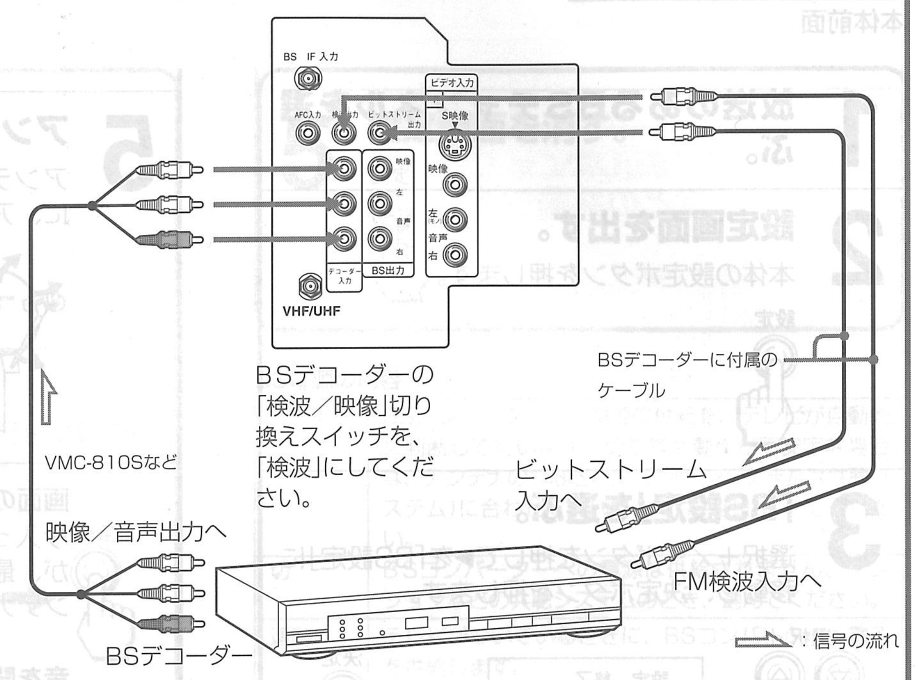
独立音声放送用デコーダーを接続した場合

デコーダー入力の音声端子のみを接続してください。

⚠ ご注意

デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力への自動切り換え機能は働きません。

BS(JSB)デコーダー



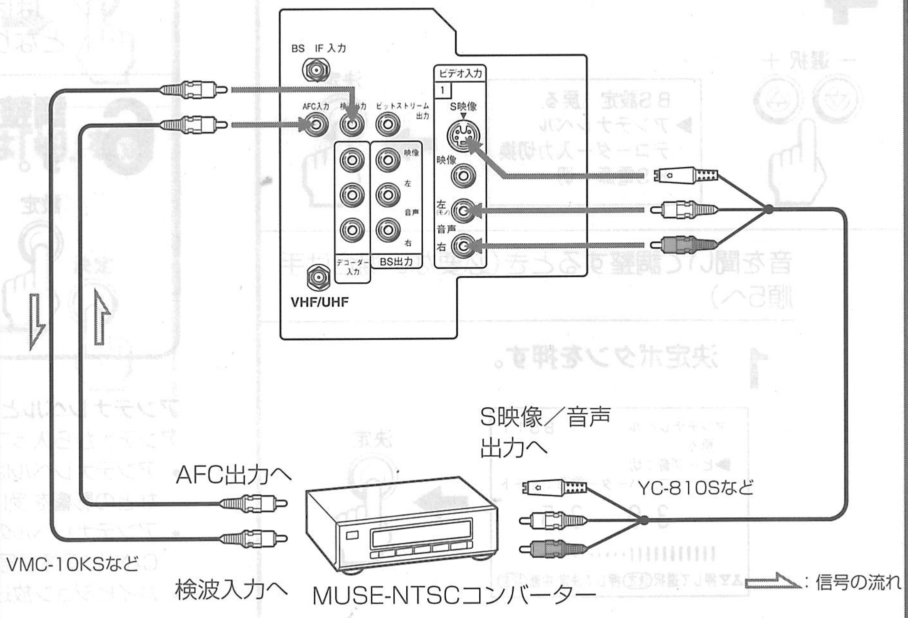
1994年4月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン試験放送が行われています。MUSE方式ハイビジョン放送を見るには、別売りのMUSE-NTSCコンバーターが必要です。

画質は現行放送(NTSC方式)と同等となります。

ハイビジョン放送を見るときは、チャンネルを選び、MUSE-NTSCコンバーターを接続したビデオ入力に切り換えてください。

デコーダー入力端子が空いている場合は、そちらに接続し、BS設定の「デコーダー入力切換」画面で、「BS9」の設定を「デコーダー」にしておけば、BS9チャンネルを選ぶだけで見ることができます。

ハイビジョン放送用MUSE-NTSCコンバーター



チャンネルごとの使用デコーダーの設定

本体前面

MUSE-NTSCコンバーターを接続した場合は、下記の手順で、チャンネルごとに使用するデコーダー入力を設定してください。

BS(ハイビジョン放送以外)のチャンネルは、お買い上げ時の設定(デコーダー入力：オート)のままにしてください。スクランブルのかかった放送を受信すると、自動的にBSデコーダーを通り、スクランブルが解除された映像になります。

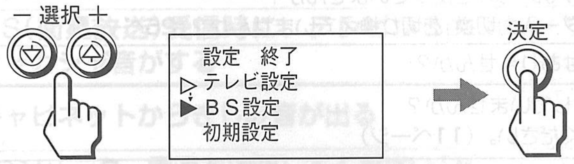
1 BSを受信する。

2 設定画面を出す。

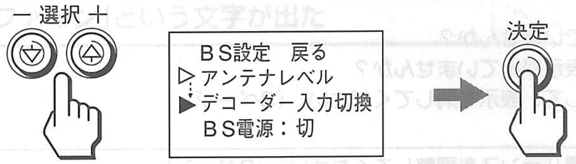
本体の設定ボタンを押します。

3 「BS設定」を選ぶ。

選択＋／－ボタンを押して▶を「BS設定」に移動し、決定ボタンを押します。



4 「デコーダー入力切換」を選ぶ。

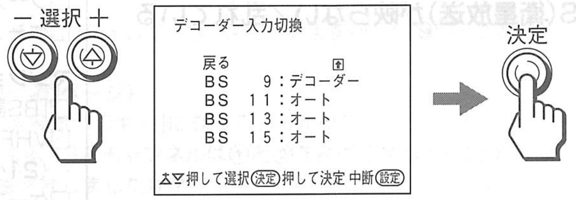


5 チャンネルを選ぶ。

BS9～15を設定したいときは、選択－ボタンで▶を「BS 7」より下に移動します。

6 設定を選ぶ。

「テレビ」「デコーダー」「オート」の中から設定を選びます。

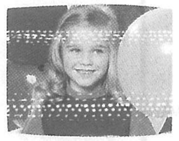


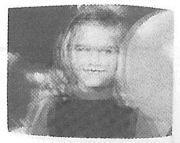
設定	内容
オート	BSのスクランブルを自動判別。
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す。
デコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す。

7 手順5～6を繰り返して、入力を換えたいチャンネルをひとつずつ設定する。

8 設定画面を消す。

故障とお考えになる前に

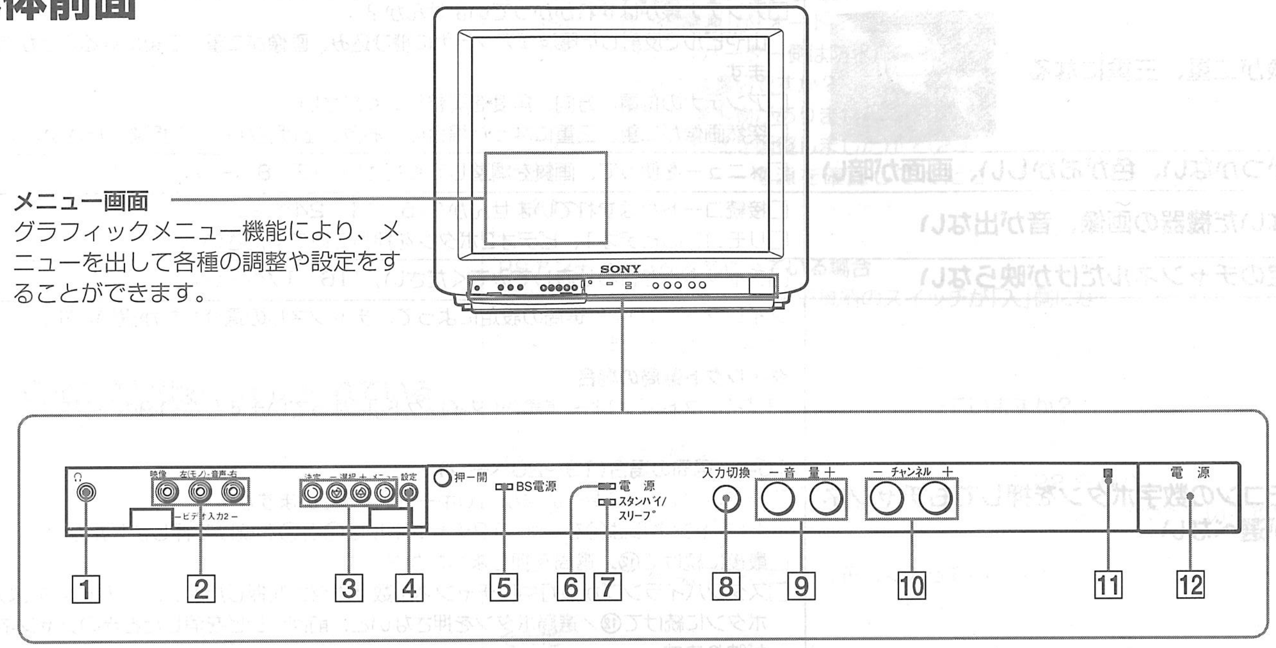
BS(衛星放送)が映らない／乱れている	**BSアンテナを直接つないでいる場合** □「BS設定」で「BS電源」が「オート／連動」になっていますか？(22ページ) □BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？ □アンテナの大きさは適切ですか？ □アンテナの前方に障害物がありませんか？ □アンテナの方向・角度を調整しましたか？(23ページ) □画面に「コンバーター電源を確認してください」の表示が出ていませんか？(21ページ) **BSアンテナに分配器を使っている場合** □コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？ **ブースターを使っている場合** □ブースターのつなぎかたは正しいですか？ □ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **マンション等の共聴システムの場合** □「BS設定」で電源が「オート／切」になっていますか？(22ページ) □VHF/UHFとBSが1本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？(21ページ) □ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **その他** □放送時間を確認してください。 □天候の影響ではありませんか？(21ページ) □BS専用のケーブルを使っていますか？ □アンテナコネクター(バルーン)を使っていませんか？ □「BS設定」で「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？(25ページ)
BS(衛星放送)の画像は出るが音が出ない	□スクランブル放送ではありませんか？
BS(衛星放送)のチャンネルが切り換わらない	□BS CH固定を「入」にしていませんか？ 「切」にして解除してください。(11ページ)
BS(衛星放送)の映りが悪い	□BSアンテナの方向、角度を調整してみてください。(23ページ) □BSアンテナがはずれかかっていませんか？
画像、音が全く出ない	□電源コードがはずれていませんか？ □テレビ本体の電源は入っていますか？
画像は出るが、音が出ない	□ヘッドホンをつないでいませんか？ □画面に「ミュート」の表示が出ていませんか？ ミュートボタンを押して、表示を消してください。(3ページ)
左右の音量が異なる	□メニューで左右の音量バランスを調整してください。(8ページ)
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく	□アンテナが、風でこわれたり曲がったりしていませんか？ □アンテナの寿命ではありませんか？通常3～5年、浜辺では1～2年です。 □アンテナ線がはずれていませんか？(14～15、21ページ)
はん点や点模様が走る 	ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。 □アンテナは、なるべく道路から離してください。
テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする	テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。
雑音が多く、ステレオで聞きにくい	「初期設定」で「オートステレオ」を「切」にしてください。BS以外のステレオ放送はモノラルになり、雑音が少なくなります。

画像が二重、三重になる 	□アンテナ線がはずれかかっていませんか？ 山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 □アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 □突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	□メニューを使って、画質を調整してください。(7～8ページ)
つないだ機器の画像、音が出ない	□接続コードがはずれていませんか？(5、11、24ページ) □リモコンのビデオ1、ビデオ2ボタンを押してみてください。
特定のチャンネルだけが映らない	□チャンネルを合わせ直してみてください。(16～17ページ)
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	ダイレクト／10キー選局の設定によって、チャンネルの選びかたが違います。 **ダイレクト選局の場合** □ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？(19ページ) **10キー選局の場合(19～20ページ)** □ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？ □11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ □最後に続けて⑫／選局を押しましたか？ □スタンバイランプが点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときは、チャンネル数字ボタンに続けて⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。 □リモコンの電池が消耗していませんか？(30ページ)
音声がステレオにならない	□初期設定で「オートステレオ」を「入」にしてください。
BS(衛星放送)受信時に、テレビからカシャカシャ音がする	BSデコーダーをお使いのとき、放送局から送られる信号によって、テレビからカシャカシャ音がする場合がありますが、異常ではありません。
キャビネットからきしみ音が出る	周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに音が出ることがあります。故障ではありません。
「コンバーター電源を確認してください」と表示された	テレビ裏面のIF入力がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
「オートシャットオフ」と表示され、テレビが消えた	放送が終了すると、テレビは約10分後に自動的に消えます(オートシャットオフ機能)。
「ファイン」という文字が出た	サービス点検用の機能です。何の操作もしなければ約3秒で消えます。

各部のなまえと働き

（　）のページに詳しい説明があります。

本体前面



1 **ヘッドホン端子**
音声をヘッドホンで聞くときに使います。
ヘッドホンの音量は音量＋／－ボタンで調整できます。

2 **ビデオ入力2(映像／音声)端子(5ページ)**
ビデオカメラなどを一時的に接続するときに使用すると便利です。

3 **メニュー操作ボタン**
メニューボタン
メニューを出したり消したりするときに使います。
選択＋／－ボタン
メニューで、▶を動かしたり、内容を選んだりするときに使います。
決定ボタン
メニューで、内容を決定するときに使います。

4 **設定ボタン**
テレビ設置時に使います。

5 **BS電源ランプ(12ページ)**
BSチューナー部が動作しているときに点灯します。

6 **電源ランプ(2ページ)**

7 **スタンバイ／スリープランプ(2、10ページ)**
リモコンでテレビをつけることができる状態(スタンバイ)のときに点灯します。また、スリープ機能を使用しているときにも点灯します。

8 **入力切換ボタン(5ページ)**
押すごとに、映像を、テレビ→ビデオ1→ビデオ2の順に切り換えることができます。

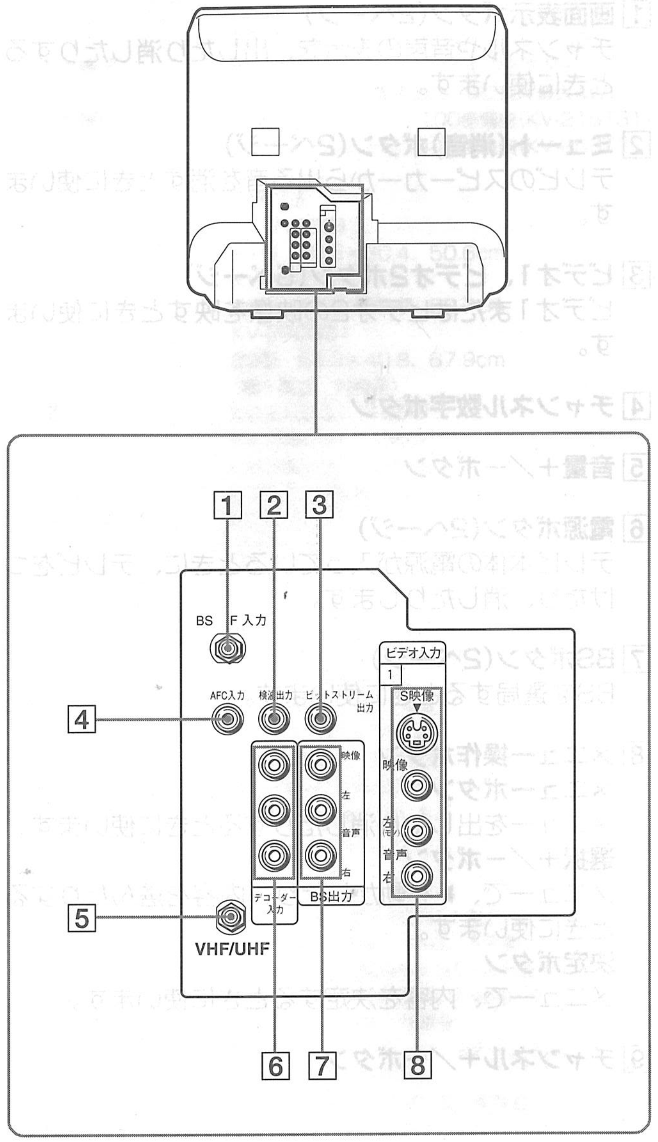
9 **音量＋／－ボタン**

10 **チャンネル＋／－ボタン**

11 **リモコン受光部**

12 **電源スイッチ**

本体裏面



1 **BS IF入力端子(21ページ)**
BSアンテナからのケーブルをつなぎます(これ以外のものはつながないでください)。この端子から、BSコンバーター用電源(DC15V)を供給することができます。
⚠ ご注意
アンテナを接続したときには、BSコンバーター電源の設定をしてください。
お買い上げ時は、BS電源は「オート」に設定されています。

2 **検波出力端子(24ページ)**
BSデコーダーのFM検波入力端子とつなぎます。

3 **ビットストリーム出力端子(24ページ)**
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。

4 **AFC入力端子(24ページ)**
MUSE-NTSCコンバーターのAFC出力端子とつなぎます。

5 **VHF/UHFアンテナ端子(14～15ページ)**
VHF/UHFアンテナ、またはケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

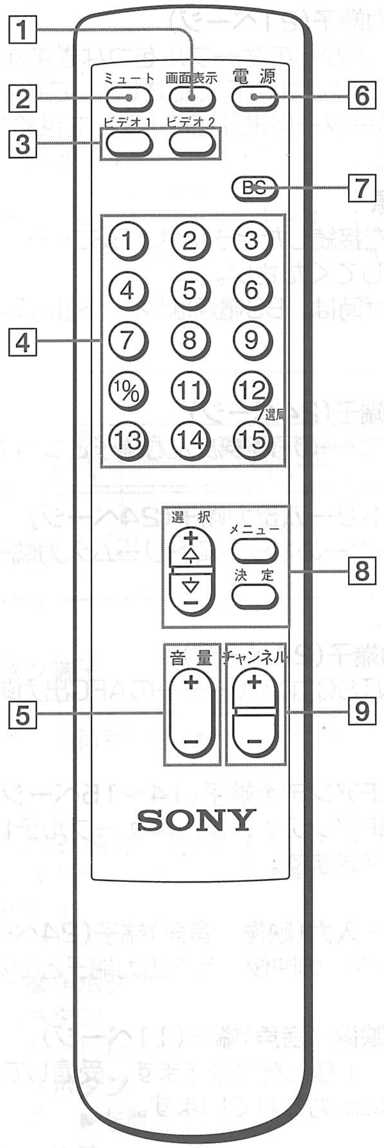
6 **デコーダー入力(映像／音声)端子(24ページ)**
BSデコーダーの映像／音声出力端子とつなぎます。

7 **BS出力(映像／音声)端子(11ページ)**
ビデオデッキなどをつなぎます。受信しているBSの信号が常に出力されています。

8 **ビデオ入力1(S映像／映像／音声)端子(5ページ)**
ビデオデッキやマルチディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。
その機器からの映像・音声を映すことができます。

各部のなまえと働き(つづき)

リモコン



1 **画面表示ボタン(2ページ)**
チャンネルや音声の表示を、出したり消したりするときに使います。

2 **ミュート(消音)ボタン(2ページ)**
テレビのスピーカーから出る音を消すときに使います。

3 **ビデオ1、ビデオ2ボタン(5ページ)**
ビデオ1またはビデオ2の映像を映すときに使います。

4 **チャンネル数字ボタン**

5 **音量+/−ボタン**

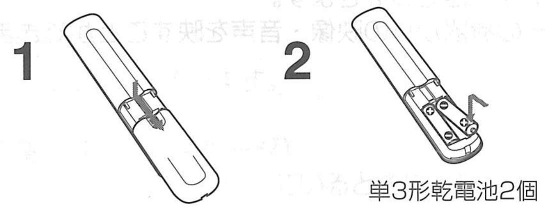
6 **電源ボタン(2ページ)**
テレビ本体の電源が入っているときに、テレビをつけたり、消したりします。

7 **BSボタン(2ページ)**
BSを選局するときに使います。

8 **メニュー操作ボタン**
メニューボタン
メニューを出したり消したりするときに使います。
選択+/−ボタン
メニューで、▶を動かしたり、内容を選んだりするときに使います。
決定ボタン
メニューで、内容を決定するときに使います。

9 **チャンネル+/−ボタン**

電池の入れかた



電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモコン操作が効かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り替えください。

リモコンで操作できないときは
スタンバイ/スリープランプは点灯していますか?
テレビ本体の電源が入っているときのみ、リモコンで操作することができます。

⚠ 乾電池使用上のご注意
乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。必ず、次のことをお守りください。
- +と−の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 1か月以上リモコンを使うことがない場合は、乾電池を取り出しておいてください。
- 万一、リモコンの中で液もれが起こったときは、中についた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

⚠ リモコン取り扱い上のご注意
- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばの温度が高いところ、湿気が多いところには置かないでください。
- テレビ本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できなくなる場合があります。
- テレビを操作するために必要なボタンがついていますので、なくさないようにしてください。

主な仕様

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1〜12チャンネル UHF 13〜62チャンネル CATV C13〜C35 BS(衛星放送)1、3、5、7、9、11、13、15
アンテナ端子	BS IF、VHF/UHF 75Ω F型コネクター (コンバーター用電源出力、DC15V最大4W)
ブラウン管*	スーパートリニトロン100度偏向(KV-21ST31) スーパートリニトロン110度偏向(KV-25ST31/29GS31) 画面寸法 KV-21ST31 21型 40.5×30.4、50.6cm KV-25ST31 25型 47.8×35.8、59.7cm KV-29GS31 29型 54.3×40.8、67.9cm (幅×高さ、対角径)
消費電力	KV-21ST31 105W KV-25ST31 135W KV-29GS31 161W (リモコン待機時 1W)
最大外形寸法	KV-21ST31 550×446×472.5mm KV-25ST31 618.6×509.4×472mm KV-29GS31 738×563.6×518.5mm (幅×高さ×奥行き)
質量	KV-21ST31 24.4kg KV-25ST31 33.7kg KV-29GS31 43.0kg
電源	AC 100V、50/60Hz
音声出力	実用最大:3W×2(EIAJ)
ビデオ入力1、2端子	S映像入力(ビデオ1のみ):4ピンミニDIN Y入力:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C入力:0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω 映像入力:ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声入力:ピンジャック、2チャンネル、500mVrms インピーダンス 47kΩ
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス 16Ω以上
BS出力端子	映像出力:ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声出力:ピンジャック、2チャンネル、標準出力レベル 240mVrms(FS-18dB時)、 出力インピーダンス 5kΩ以下
検波出力端子	ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子	映像入力:ピンジャック、1Vp-p、75Ω 不平衡、同期負 音声入力:ピンジャック、2チャンネル、標準入力レベル 240mVrms、 インピーダンス 47kΩ
AFC入力端子	ピンジャック、75Ω
使用スピーカー	KV-21ST31 円形8cm×2 KV-25ST31 円形8cm×2 KV-29GS31 5×11cm楕円×2

付属品	リモートコマンダーRM-J156	(1)
	乾電池 単3形	(2)
	アンテナコネクター	(1)
	取扱説明書	(1)
	保証書	(1)
	サービス窓口・ご相談窓口のご案内	(1)
	使用上のご注意	(1)
	安全点検のおすすめ	(1)

別売りアクセサリー

テレビスタンド	SU-29V (KV-29GS31) SU-25ST3 (KV-25ST31) SU-21STP (KV-21ST31)
ステレオヘッドホン	MDR-55TV MDR-IF610K
ふしぎリモコン	RM-J152
テレビラック固定ベルト	BLT-R10(KV-25ST31/29GS31のみ)
BSアンテナなど	**21**ページ
接続ケーブルなど	**5、11、24**ページ

*テレビの型は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- このテレビを使用できるのは、日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを	「故障とお考えになる前に」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。
それでも具合いが悪いときはサービス窓口へ	お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

安全にお使いいただくために

お買い上げいただきましたカラーテレビは、正しくお使いいただければ事故が起きないよう、安全には十分配慮して設計されております。
　しかし、使いかたによりましては、故障や事故につながる場合があります。また、次のような場所でご使用になりますと、部品材料の劣化を早め、故障が発生しやすくなり、ときには感電や火災などの思わぬ事故の原因になることがあります。

●ほこりが多い場所　●高温の場所
●湿度の高い場所　●台所など油分の多い場所

安全点検のおすすめ

安全にお使いいただくために、付属の「安全点検チェックリスト」にしたがって、正しい使用方法をお客様ご自身でご点検ください。
　点検の結果、該当項目がある場合は「処置手順」にしたがい、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

異常と思ったら

音は出るが画面が映らない、煙が出ている、変な音や臭いがするなどの故障状態のままでご使用になると危険です。すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

このテレビを使用できるのは、日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

ご相談になるときは
次のことをお知らせください。

型名：KV-21ST31／25ST31／29GS31

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
•東京(03)5448-3311 •名古屋(052)232-2611
•大阪(06)251-5111

[This television is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.]

Printed in Japan

SONY

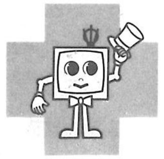
テレビを楽しく正しく安全にご覧いただくための

使用上のご注意

●ご使用の前にこの「使用上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

安全上のご注意

火災や感電を防ぐために必ずお守りください。



ちょっとした心づかいでテレビの安全

風通しの悪い場所に置かない

壁から10cm以上離してください。
また、テーブルクロスをかけたり、ふとんの上に置いたりして、通風孔をふさぐと、火災や故障の原因となります。

裏ぶたをあけない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電するおそれがあります。
内部の点検・調整は電気店にお任せください。

異物を入れない

金属類や燃えやすいものを、通風孔などから入れないでください。万一内部に異物が入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、電気店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
特にお子様にご注意。

水は禁物

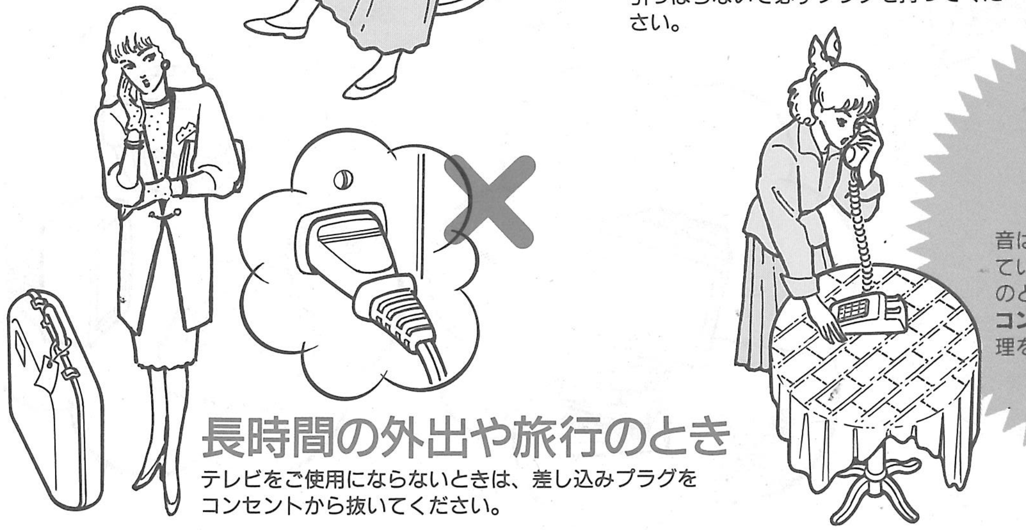
水の入った花びんやコップをテレビの上に置かないでください。
万一内部に水が入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、電気店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

テレビのACアウトレットには

指定の消費電力以上の機器をつながないでください。

電源コードを傷つけない

重い物を載せたり、熱器具に近づけてはいけません。火災や感電の原因になります。
コードが傷んだら、電気店に交換をご依頼ください。
差し込みプラグを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持ってください。



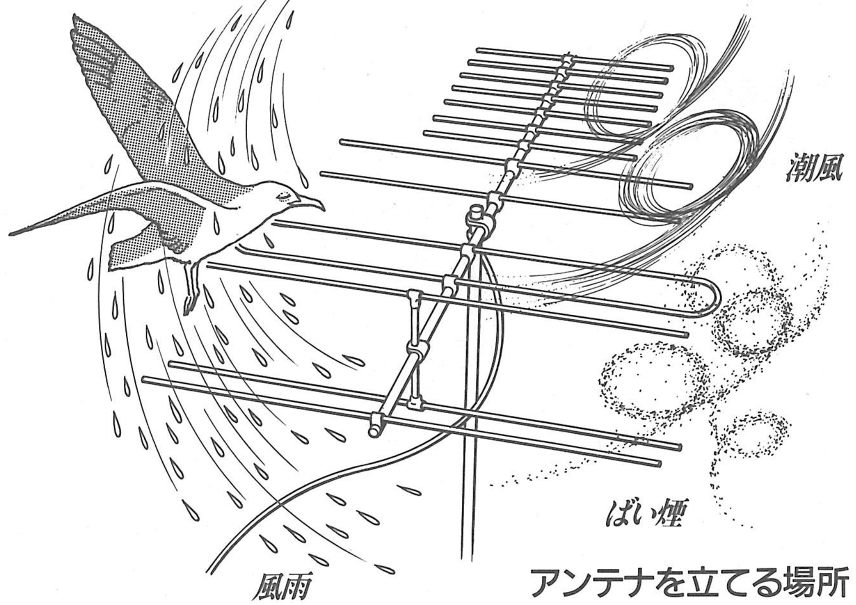
長時間の外出や旅行のとき

テレビをご使用にならないときは、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

異常

音は出るが画面が映らない、煙が出ている、変な音やにおいがするなどのときは、**すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いて**、電気店に修理をご依頼ください。

アンテナについて



アンテナを立てる場所

妨害電波の影響を受けないよう、**次のような場所は避けてください。**
万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
●交通頻繁な所
●電車の架線・送配電線の近く
●ネオンサインの近く
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、電気店にご相談ください。
アンテナ線には同軸ケーブルを使用すると妨害の少ない良好な画像が得られます。

定期的に点検と交換を

アンテナは屋外にあるため、傷みやすい環境になっています。映りが悪くなったら電気店にご相談ください。

お手入れ

お手入れの際は、必ず差し込みプラグを抜いてください。

ブラウン管の表面はほこりがつきやすいので、乾いた柔らかい布で

表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

キャビネットは乾いた柔らかい布で

汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。

ベンジンやシンナーでふかない

変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

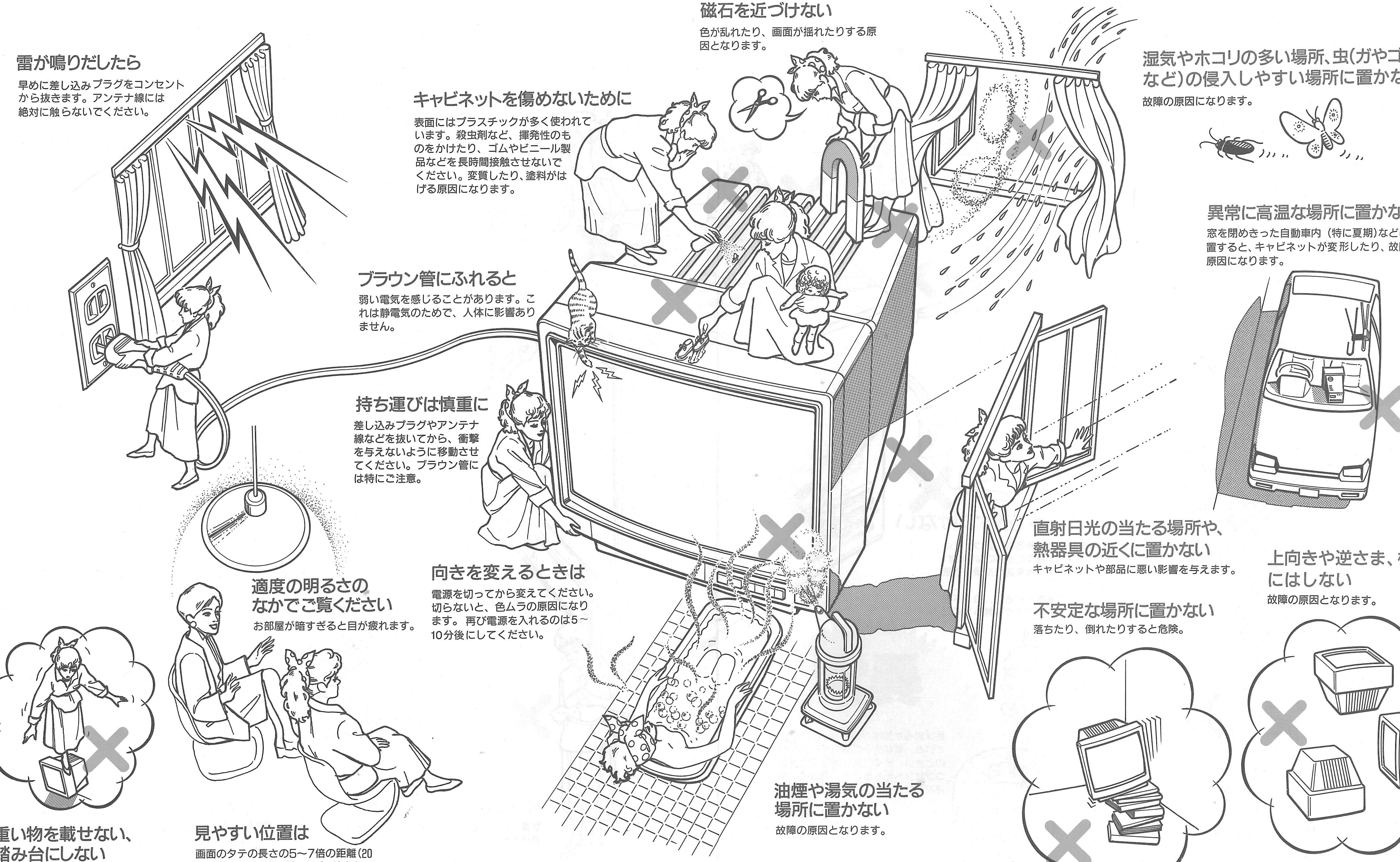
年に一度は内部の掃除を電気店にご相談ください。

火災、故障を防ぎます。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311　●大阪(06)251-5111　●名古屋(052)232-2611
Printed in Japan　©1983　4-491-665-02 (7)

裏面も必ずお読みください。

日常の心がけ——安全にお使いいただくために



雷が鳴りだしたら
早めに差し込みプラグをコンセントから抜きます。アンテナ線には絶対に触らないでください。

キャビネットを傷めないために
表面にはプラスチックが多く使われています。殺虫剤など、揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげる原因になります。

磁石を近づけない
色が乱れたり、画面が揺れたりする原因となります。

ブラウン管にふれると
弱い電気を感じることがあります。これは静電気のためで、人体に影響ありません。

持ち運びは慎重に
差し込みプラグやアンテナ線などを抜いてから、衝撃を与えないように移動させてください。ブラウン管には特にご注意。

向きを変えるときは
電源を切ってから変えてください。切らないと、色ムラの原因になります。再び電源を入れるのは5～10分後にしてください。

適度の明るさのなかでご覧ください
お部屋が暗すぎると目が疲れます。

重い物を載せない、踏み台にしない
倒れたり、こわれたりして危険です。特にお子様にご注意。

見やすい位置は
画面のタテの長さの5～7倍の距離(20型で約2m、14型で約1.5m)が適当です。画面の位置は目よりやや低い方が見やすくて、疲れません。

テレビを置く場所

湿気やホコリの多い場所、虫(ガやゴキブリなど)の侵入しやすい場所に置かない
故障の原因になります。

異常に高温な場所に置かない
窓を閉めきった自動車内(特に夏期)などに放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因になります。

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くに置かない
キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

上向きや逆さま、横倒しにはしない
故障の原因となります。

不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりすると危険。

油煙や湯気の当たる場所に置かない
故障の原因となります。

SONY

3-754-309-**01**(2)

正しく安全にお使いいただくために

カラーテレビ安全点検のおすすめ

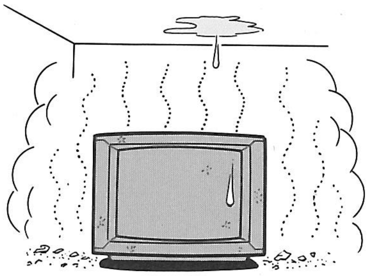
愛情点検

カラーテレビは

正しくお使いいただければ事故が起きないよう、
安全には十分配慮して設計されております。

しかし、次のような場所でご使用になりますと、
部品材料の劣化を早め、故障が発生しやすくなります。
また、ときには感電や火災などの思わぬ事故に
つながることがあります。

- ●ほこりの多い場所
- ●高温の場所
- ●湿度の高い場所
- ●台所など油分の多い場所



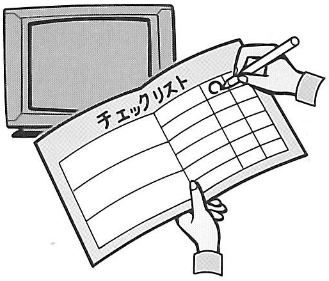
まず ご自身で安全点検を

安全にお使いいただくために、
年1回ほど下記の手順で安全点検を実施してください。

1 裏面の『安全点検チェックリスト』にしたがって
点検をおこなう。

2「点検結果」欄に○印または×印をつける。

3 ×印があるときは「処置手順」欄の処置をおこなう。

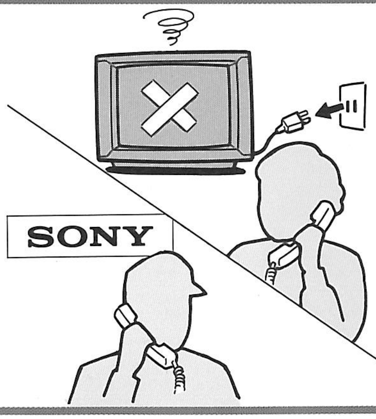


専門家にご相談を　—チェックリストの1～8に×印があるとき

すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口に
ご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

□**型名**
□**故障の状態**（できるだけ詳しく）
□**購入年月日**



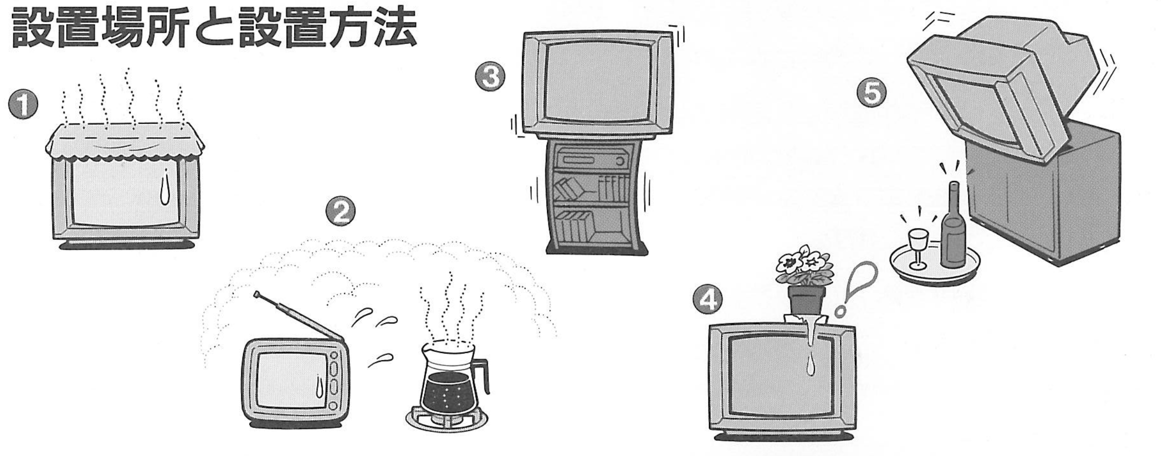
©1991 by Sony Corporation

ソニー株式会社

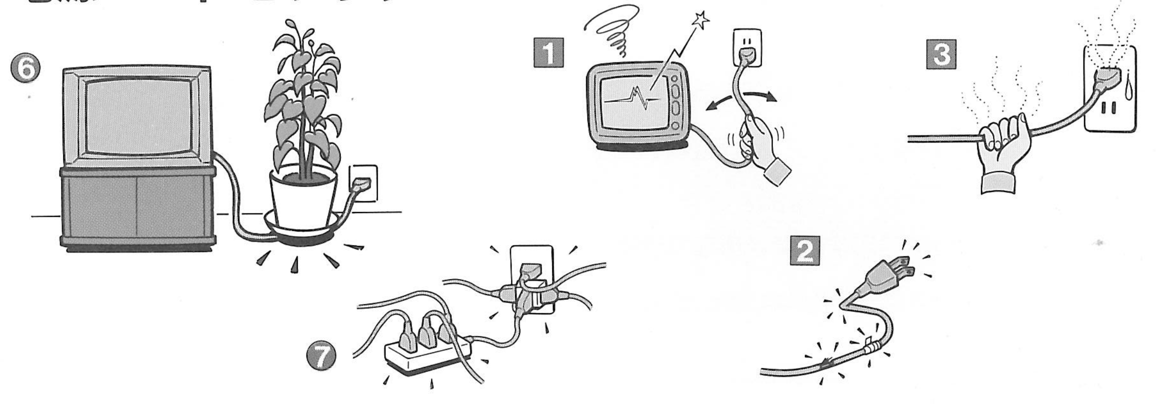
ちょっとした心づかいでテレビの安全

〈カラーテレビ〉安全点検チェックリスト

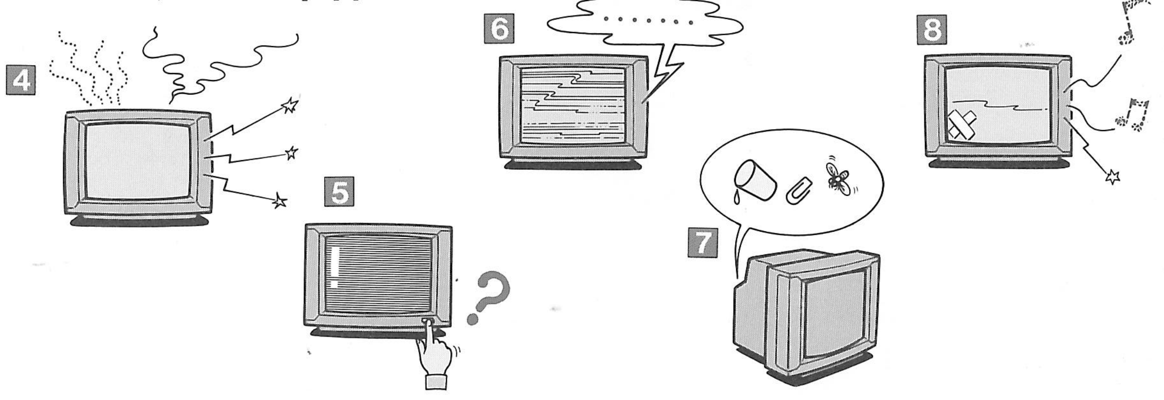
設置場所と設置方法



電源コードとプラグ



カラーテレビ本体



	安全点検項目	点検結果 年／月 ○良い ×悪い					処置手順
		／	／	／	／	／	
	設置場所と設置方法						
❶	布やテーブルクロスなどで**通気孔をふさいで**いませんか						×印の項目があるとき → そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。 → 正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
❷	**水気、油気、湿気の多いところ**に置いていませんか						
❸	**不安定な場所**に置いたり、**不安定な置きかた**をしていませんか						
❹	水のこぼれやすい**花瓶や植木鉢などが**テレビの上に載っていませんか						
❺	**転倒防止用具**は正しく使われていますか（25型以上）						
	電源コードとプラグ						
❻	電源コードが**物（椅子、机、台など）の下敷き**になっていませんか						
❼	**たこ足配線**をしていませんか						
1	電源コードを動かしたとき、**電源が入ったり切れたり**しませんか						一つでも×印があるとき → **すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。** → お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。
2	電源コードが窮屈に**折れ曲がったり、キズがついたり**していませんか						
3	電源コードやプラグが**異常な熱**を持っていませんか						
	カラーテレビ本体						
4	**異常な熱や煙**が発生したり**変な臭いや音**（パチパチ）がしませんか						
5	電源を入れても**画像や音が出ないこと**がありませんか						
6	**画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか						
7	**通気孔から水や異物**（紙・虫・クリップ・ピンなど）**が入った形跡**がありませんか						
8	**故障状態のまま使用して**いませんか						

メモ欄

お買い上げ時にあらかじめ記入しておきましょう。

メーカー名	ソニー		
品名	トリニトロン カラーテレビ		
型名			
購入年月日			
お買い上げ店			
保証書の保管場所			

ソニー製品についてのお問い合わせ・ご相談は

お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口をご利用ください。
付属の『ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内』をご覧ください。
あらかじめお客様のお近くの窓口をメモしておくと便利です。

	電話番号	住所
お買い上げ店		
サービス窓口		
ご相談窓口		

Printed in Japan